

東区 各地(学)区社会福祉協議会の活動状況一覧(令和7年1月末現在)



資料 7

日常生活圏域		福木・温品			
地区社協		福田	馬木	上温品	温品
人 口 (高齢化率) 令和7年1月末現在 世帯数 (町内会加入率) 令和7年1月末現在		6,412人 (35.4%) 3,220世帯(62.1%)	6,190人(34.2%) 2,884世帯(52.0%)	5,263人(34.4%) 2,512世帯(66.2%)	7,248人(28.3%) 3,398世帯(49.8%)
地(学)区社協構成員		町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・小中学校・PTA・消防団・防犯パトロール隊・保護司・公民館・地元福祉施設	町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・体協・子ども会・PTA・消防団・公民館	町内会(自主防)・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・青少協・体協・子ども会・PTA・保護司会・福祉委員・交通安全推進隊	町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・子ども会・PTA・母子会・消防団・保護司・地元ボランティアグループ(ぬくもり)
地(学)区社協拠点場所		ラポールひろしま隣の古民家(福田1丁目)(週5日開設)	虹の里ふれあいセンター(週5日開設)	温品福祉センター(週5日開設)	岩谷寺内(温品4丁目)(週5日開設)
近隣ミニネットワークの実施内容 ・特徴的な取組 ※地域住民による見守り・支えあい活動と、関係機関・団体による支援のネットワークづくり		・ 見守り方法及び頻度 民生委員と連携し町内会ごとに実施。必要に応じて救急医療情報キットも配布している。隣近所からのさりげない見守りが多い。 ・ 見守り運営会議 各町内会で開催。 ・ その他特徴的な取組 見守りと避難行動要支援者避難支援事業の一体的な取組について、地区全体の幅広い実施を推進する中、観音原自治会では「高齢者地域支え合い事業」、「お助け隊活動」(自治会独自のボランティア)及び「避難行動要支援者避難支援事業」の包括的実施のために「観音原〔見守り・お助け〕ネットワーク」を設立。	・ 見守り方法及び頻度 電話連絡による見守りを毎日行うほか、町内各班長が担う福祉委員を中心に隣近所での見守りを実施。 ・ 見守り運営会議 毎年6月に班福祉委員会議を実施。月1回の地区社協定例会で進捗を確認。 ・ その他特徴的な取組 R6.5高齢者地域支え合い事業『馬木あんしんネットワーク』を立ち上げ、近隣ミニネットワークと高齢者地域支え合い事業を一体的に実施。また、一部地域では独自の書式・ネットワークによる行方不明者搜索の仕組みを整備。	・ 見守り方法及び頻度 日常生活上での継続した見守りを実施。民生委員による電話見守りも開始。配達業者等の見守り協力もある。 ・ 見守り運営会議 年2回福祉部会・近隣ミニネットワーク会議を実施。 ・ その他特徴的な取組 近隣ミニネットワークと高齢者地域支え合い事業を一体的に実施。	・ 見守り方法及び頻度 高齢者地域支え合い事業を町内会ごとに実施。 ・ 見守り運営会議 2か月に1回情報交換会を開催(ボランティアグループぬくもり幹事会にて)。 ・ その他特徴的な取組 学区全体での高齢者地域支え合い事業実施に向け準備中。
ボランティアバンク実施内容 ・特徴的な取組 ※心配・困り事など各種相談、車椅子の貸し出しは全ての地(学)区社協が実施している。		・『ライフサポートふくだ(有償ボランティア)』 ※住民主体型生活支援訪問サービスも実施。 ・草刈り・庭木の選定 ・簡単な大工仕事 ・家具の移動・電灯の交換 ・雪かき ・スマホ、パソコンの使い方	・見守りを兼ねた訪問配食 ・シート交換・洗濯物整理 ・庭木などの整理 ・屋外レクリエーション ・ふれあい会食 ・いきいきサロン ・地域の美化支援 ・『馬木おたすけGB会(有償ボランティア)』	・高齢者支援 (配食、日常生活上の手伝い、小修理) ・オープンスペース「はとぼっぼ」の運営支援 ・ふれあいいきいきサロンの運営支援 ・施設支援 (小学校、児童館、「はぐくみの里」) ・地域の美化支援	・高齢者支援活動(見守り・話し相手) ・配食活動(月2回) ・家事の援助(ゴミ出し、草取り) ・技術的支援(修理、庭木の剪定) ・児童生徒の登下校の見守り活動 ・あいさつ運動 ・子育て支援
東区地域支えあいリスト掲載件数 (内は、前年度の数)	子育て親子の通いの場	9(9)			
		3(3)	1(1)	2(2)	3(3)
	障害児・者の通いの場	1(1)			
		0(0)	1(1)	0(0)	0(0)
	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操等介護予防拠点)	18(18)			
		8(8)	4(5)	3(3)	3(2)
	高齢者の通いの場 (グラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等)	21(21)			
		6(6)	9(9)	1(2)	5(4)
	高齢者の通いの場 (いきいきサロン等交流の場)	12(12)			
		5(5)	4(4)	2(2)	1(1)
	認知症支えあいカフェ	7(6)			
		1(1)	1(1)	2(1)	3(3)
	こども食堂(地域食堂)	0(0)			
		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
地区社協の特徴的な取組	地区社協活動拠点活性化支援事業の取組状況 (活動拠点機能強化のための事業)	【取組期間】 ・令和5年度～	【取組期間】 ・令和4年度～	【取組期間】 ・令和4年度～	【取組期間】 ・令和5年度～
	地域団体連携支援基金 事業費助成金の取組状況 (他団体との連携による地域課題解決のための事業)	【事業名】福田地区盆踊り伝承事業 【取組期間】令和5年度 【事業名】福田地区防災強化事業 【取組期間】令和6年度		【事業名】上温品ふるさとカルタ制作 【取組期間】令和3年度～令和5年度 【事業名】上温品小学校の花壇手入れ支援事業の整備 【取組期間】令和6年度	【事業名】温品学区防災強化事業(分散避難) 【取組期間】令和4年度 【事業名】あいさつ運動実践告知幟旗 【取組期間】令和5年度 【事業名】府中大川清掃事業・三世代交流事業 【取組期間】令和6年度
	ひろしまLMOへの取組	令和6年7月設立	令和6年6月設立	令和5年7月設立	令和7年2月設立
	その他の取組	【生活相談窓口の強化】 活動拠点に生活相談窓口相談員を配置し、地域住民の困りごと相談に応じるとともに、月1回専門職を交えた『合同相談会』を開催。また、相談員研修会を年1回開催し、対応した困りごと相談事例の共有と、相談員の研修を実施しています。	【福祉のまちづくりプランの作成】 馬木福祉のまちづくりプラン(第4次)の作成に向け、地域住民にアンケートを実施。手書き回答以外にもQRコードを掲載し、Googleフォームからの回答も受け付けたため、幅広い世代からの回答を得ることができました。新たな担い手確保に向けて地域活動への関心と理解を深めてもらうためにも、まずは見てもらえるまちづくりプランの作成を目指して取り組んでいます。	【福祉のまちづくり3事業の充実と体制見直し】 地区社協の組織体制やこれまでの事業を見直し、近隣ミニネットワーク・いきいきサロン・ボランティアバンクの活動をさらに充実させることで、福祉のまちづくりを推進しています。	【ほっとウォーク困りごと相談会の開催】 毎週火曜日実施のウォーキングサロンほっとウォーク会で、月に1回『ほっとウォーク困りごと相談会』を専門職と開催。のぼり設置やチラシ配布により、地区社協拠点への相談が増加しました。

東区 各地(学)区社会福祉協議会の活動状況一覧(令和7年1月末現在)



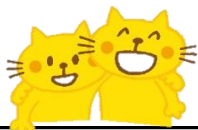
日常生活圏域		戸坂		
地区社協		東 浄	戸坂城山	戸坂
人 口 (高齢化率) 令和6年1月末現在 世帯数 (町内会加入率) 令和6年1月末現在		6,250人(28.7%) 2,901世帯(64.8%)	5,715人(30.0%) 2,840世帯(49.7%)	13,066人(28.4%) 6,397世帯(46.6%)
地(学)区社協構成員		町内会・民児協・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・PTA・保護司・防犯連絡協	町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・小学校・PTA・母親クラブ・消防団・保護司・防犯連絡協	町内会・民児協・女性会・公衛協・自主防・青少協・体協・子ども会・小中学校・PTA・消防団・保護司・少年補導協 助員・地元ボランティア団体等・防犯連絡協・公民館・作業所・地元児童施設・特別支援学校・その他(学識経験者等)
地(学)区社協拠点場所		東浄集会所 (週2日開設)	戸坂福祉センター (週3日開設)	戸坂まちづくりセンター※公民館内(週5日開設)
近隣ミニネットワークの実施内容 ・特徴的な取組 ※地域住民による見守り・支えあい活動と、関係機関・団体による支援のネットワークづくり		・見守り方法及び頻度 高齢者地域支え合い事業は町内会ごとに実施。 ・見守り運営会議 福祉委員会を2か月に1回程度開催し、情報共有。	・見守り方法及び頻度 町内会を単位とした隣近所での見守りを学区全体で実施。電話連絡による見守りを週2回実施。 ・見守り運営会議 高齢者地域支え合い事業については、包括支援センターによる年1回訪問前に町内会ごとに会議を開催。 ・その他特徴的な取組 高齢者地域支え合い事業への取組は、区内におけるモデル地区としていち早く実施。	・見守り方法及び頻度 町内会ごとに町内会長・民生委員・福祉委員を中心として隣近所で見守りを実施。 ・見守り運営会議 町内会長会議を四半期ごとに開催し、情報共有および意見交換。 ・その他特徴的な取組 気になる世帯の把握に、ケーグルマップを活用する町内会もある。
ボランティアバンク実施内容 ・特徴的な取組 ※心配・困り事など各種相談、車椅子の貸し出しは全ての地(学)区社協が実施している。		・高齢者の見守りほか ・高齢者宅の手伝い	・ボランティアの登録や派遣等調整 家事援助(草取り、剪定、道路の掃除、ゴミ出しなど) ・配食(月2回第1・3水曜日) ・安否確認	・見守り ・いきいきサロンの運営支援 ・いこいの広場の運営支援 ・虹だよりの発行 ・神田山花壇の手入れ ・認知症支えあいカフェ
東 区 地 域 支 え あ い (内 は 、 前 年 度 の 掲 載 件 数	子育て親子の通いの場	6(7)		
		1(1)	0(1)	5(5)
	障害児・者の通いの場	2(3)		
		0(0)	0(0)	2(3)
	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操等介護予防拠点)	29(29)		
		10(10)	8(7)	11(12)
	高齢者の通いの場 (グラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等)	11(10)		
		3(3)	4(4)	4(3)
	高齢者の通いの場 (いきいきサロン等交流の場)	20(21)		
		7(7)	8(8)	5(6)
地 区 社 協 の 特 徴 的 な 取 組	認知症支えあいカフェ	4(4)		
		1(1)	1(1)	2(2)
	こども食堂(地域食堂)	1(1)		
		0(0)	1(1)	0(0)
	地区社協活動拠点活性化支援事業の取組状況 (活動拠点機能強化のための事業)			【取組期間】 令和6年度～
	地域団体連携支援基金 事業費助成金の取組状況 (他団体との連携による地域課題解決のための事業)	【事業名】東浄学区子どもイベント(紙飛行機大会と縁日祭り)・敬老の集い 【取組期間】令和5年度 【事業名】東浄学区夏祭り・敬老の集い 【取組期間】令和6年度	【事業名】戸坂ガードボランティア着用Tシャツ作製 【取組期間】令和4年度	【事業名】戸坂まちづくりセンター事務所の開設 【取組期間】令和5年度
	ひろしまLMOへの取組			令和6年12月設立
	その他の取組	【戸坂ともいきタクシーの運営】 戸坂連合社協では、坂道の多い戸坂のまちで、買い物や通院などに困っている方の移動手段を確保するため、乗合タクシーの実験運行を2023年12月20日から開始し、2024年12月20日から本格運行しています。		
		【地域行事の充実と多世代交流】 地域団体連携支援基金を活用し、夏祭りや敬老の集いに、より多くの地域住民が参加して親睦が図れるようにしています。 また、子育て世代が参加しやすい行事をPTAと協力して開催することで、多世代交流の場をつくり、地域の活性化を推進しています。	【多世代交流の場づくり】 複数の社会福祉法人と大学、地区社協、民児協が連携し、子ども食堂『らくらく広場』を開催することで、多世代交流の場づくりを推進しています。コロナ禍で3年間中断していましたが、4年度末から再開し、今年度からはカレーの提供も始まりました。	【地域行事の充実による地域の活性化】 体育祭や盆踊り、敬老会など地域住民が多く集う行事を開催し、地域の活性化を推進しています。 また、令和2年度から感謝状規程に基づき、学区の発展に貢献した人に感謝状と記念品(キャッチフレーズ「支えあい とともに咲かそう えがおのまちへさか」が手書きされた宮島焼の湯飲み)を贈呈しています。

東区 各地(学)区社会福祉協議会の活動状況一覧(令和7年1月末現在)



日常生活圏域		牛田・早稲田		
地区社協		牛田新町	牛田	早稲田
人 口 (高齢化率) 令和6年1月末現在 世帯数 (町内会加入率) 令和6年1月末現在		7,342人(24.3%) 3,546世帯(57.2%)	15,928人(22.0%) 7,305世帯(61.2%)	5,960人(26.4%) 2,651世帯(80.8%)
地(学)区社協構成員		町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・子ども会・小中学校・PTA・母子会・保護司・青少年指導員・防犯組合・被爆者協・献血推進協	町内会・民児協・女性会・公衛協・自主防・青少協・体協・子ども会・PTA・母子会・消防団・保護司・ふれあい活動推進協・老連・被爆者協・防犯連絡協・交通安全推進隊・成年会・商店街振興組合・福祉施設連絡協議会・学識経験者	町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・小中学校・PTA・保護司・防犯組合・更生保護女性会・献血推進協・女学院大学・幼稚園・公民館
地(学)区社協拠点場所		牛田新町集会所 (週3日開設)	牛田集会所 (週5日開設)	早稲田集会所 (週6日開設)
近隣ミニネットワークの実施内容 ・特徴的な取組 ※地域住民による見守り・支えあい活動と、関係機関・団体による支援のネットワークづくり		・見守り方法及び頻度 町内会長を中心に、各種行事案内や会費徴収等の様々な訪問機会を活かした安否確認を兼ねた見守り。 ・見守り運営会議 年1回開催のボランティア会議にて協議。必要に応じて民生委員に協力を依頼。	・見守り方法及び頻度 町内会ごとに隣近所の見守りを実施。 ・見守り運営会議 年5回開催の学区社協理事会において、情報共有及び意見交換。年2回開催「福祉のまちづくり委員会」の「高齢者・障がい者福祉部会」で協議中。	・見守り方法及び頻度 「見守りサポート事業」として電話連絡による見守りを週2回実施。また、日常においては、ながら見守りを実施(例えば、散歩をしながら、買い物しながら)。 ・見守り運営会議 年数回協議会開催のほか年1回見守り活動者と対象者の情報交換会を実施。 ・その他特徴的な取組 地域独自のデータ管理システムを作成・運用。早稲田見守りサポート事業(学区社協)から地域包括支援センターに情報提供(『個人情報』の取り扱いに関する合意書』を取交)。
ボランティアバンク実施内容 ・特徴的な取組 ※心配・困り事など各種相談、車椅子の貸し出しは全ての地(学)区社協が実施している。		・小学校1～2年生の下校見守り ・児童下校挨拶・見守り ・町内夜間巡回パトロール等 ・地下道の非行温床化防止に向けた深夜パトロール ・町内会による夜警活動推進のため、合同夜警等実施 ・サロン運営等住民交流活動支援 ・地域内清掃 ・特養ホームにて月2回交流活動	・小中学生の見守り ・子どもの居場所づくり(小学校で遊ぶ)う) ・花のあるまちづくり ・図書ボランティア ・『牛田サポートネットほおずき(有償ボランティア)』※住民主体型生活支援訪問サービスも実施。	・近隣ミニネット(見守りサポート)電話で声掛け ・子育て支援 ・オープンスペース ・本の読み聞かせ ・車椅子体験学習
東 区 地 域 支 え あ い リ ス ト 掲 載 件 数 (内 は 、 前 年 度 の 数)	子育て親子の通いの場	7(7)		
		2(2)	2(2)	3(3)
	障害児・者の通いの場	1(1)		
		1(1)	0(0)	0(0)
	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操等介護予防拠点)	26(24)		
		4(4)	16(14)	6(6)
	高齢者の通いの場 (グラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等)	16(15) ※重複1あり		
		8(7)	4(4) ※	4(4) ※
	高齢者の通いの場 (いきいきサロン等交流の場)	20(22)		
		5(6)	9(10)	6(6)
	認知症支えあいカフェ	4(4)		
		2(2)	1(1)	1(1)
地 区 社 協 の 特 徴 的 な 取 組	子ども食堂(地域食堂)	2(0)		
		0(0)	2(0)	0(0)
	地区社協活動拠点活性化支援事業の取組状況 (活動拠点機能強化のための事業)		【取組期間】 ・令和3年度～	【取組期間】 ・令和5年度～
	地域団体連携支援基金 事業費助成金の取組状況 (他団体との連携による地域課題解決のための事業)	【事業名】活動拠点に伴う、他団体との話し合いの場の拠点整備事業 【取組期間】令和3年度 【事業名】地区社協構成団体全てが活躍できる体制整備事業 【取組期間】令和4年度 【事業名】不動産へ散歩して来て下さい事業(交流事業) 【取組期間】令和5年度	【事業名】牛田フェスタ 【取組期間】令和6年度	【事業名】牛田東第3公園における防災公園整備 【取組期間】令和4年度
	ひろしまLMOへの取組			令和5年3月設立
そ の 他 の 取 組	その他の取組	【多世代交流の場づくり】 世代・分野を問わない住民の交流の場として令和6年7月から『牛田新町ふれあい食堂』が始まりました。会話を楽しみながら食事をし、食後はカラオケやレクリエーションで交流しています。子どものための遊びのスペースもあり、子育て世帯、児童、高齢者、障害者など、多様な人々の居場所になっています。	【牛田ホタル再生プロジェクトの実施】 牛田の渓流でかつてのようにホタルの舞う環境を整備することで、住民にとって夢のある持続可能な地域環境づくりに取り組んでいます。また、近年毎年のように集中豪雨が多発しており、住民が小河川に関心を持つことで防災意識の啓発にもつなげたいと考えています。地域テーマ募金(赤い羽根ESD支援プロジェクト)を活用して実施しています。	【早稲田学区総合避難訓練(防災フェア)の実施】 市内で大規模地震が発生したことを想定し、早稲田中学校が生活避難場所として開設されることを周知するとともに、各町内からの避難方法を確認してもらいました。また、発災時に防災拠点となる牛田東第3公園の取り組みや地域防災プラットフォームでつながる各機関との連携について紹介しました。

東区 各地(学)区社会福祉協議会の活動状況一覧(令和7年1月末現在)



日常生活圏域		二葉		
地区社協		中山	尾長	矢賀
人口(高齢化率) 令和6年1月末現在 世帯数(町内会加入率) 令和6年1月末現在		9,750人(23.8%) 4,292世帯(36.8%)	20,112人(28.2%) 11,609世帯(41.3%)	7,551人(23.6%) 3,889世帯(38.0%)
地(学)区社協構成員		町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・子ども会・小学校・PTA・母子会・保護司・更生保護女性会・地域安全推進員・消防団・献血推進隊・交通安全推進隊・郷土芸能保存会・おやじの会	町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・子ども会・消防団・保護司・地域包括支援センター・地元福祉法人等	町内会・民児協・女性会・公衛協・老人クラブ・自主防・青少協・体協・消防団・防犯連・住民主体型サービス代表
地(学)区社協拠点場所		中山福祉センター・中山集会所 (週5日開設)	尾長学区集会所 (週5日開設)	矢賀中央集会所 (週1日開設)
近隣ミニネットワークの実施内容 ・特徴的な取組 ※地域住民による見守り・支えあい活動と、関係機関・団体による支援のネットワークづくり		・見守り方法及び頻度 隣近所同士のさりげない見守りのほか、必要に応じて地域福祉推進委員を窓口し、民児協と連携・情報共有し対応を行う。	・見守り方法及び頻度 電話による安否確認(週5回実施)のほか、隣近所でのさりげない見守りを実施。 ・見守り運営会議 原則、毎月1回高齢者等見守りネット委員会を開催。 ・その他特徴的な取組 近隣ミニネットワークと高齢者地域支え合い事業を一体的に実施。地元協力事業者も多数。	・見守り方法及び頻度 町内会ごとに近隣での見守りを実施。 ・見守り運営会議 ふれあい推進委員会年7回、学校協力者会議年4回 ・その他特徴的な取組 『高齢者災害時避難リスト』作成に向け、全町内会にアンケートを実施。
ボランティアバンク実施内容 ・特徴的な取組 ※心配・困り事など各種相談、車椅子の貸し出しは全ての地(学)区社協が実施している。		・一人暮らしや二人暮らしの高齢者、病弱な方に月2回弁当を作る(リンゴの会) ・リンゴの会が作ったお弁当の配食と安否確認(ダイコンの会) ・草取り、庭木の剪定 ・毎月(※)第1・3・5の月曜日の小学校下校時に安全指導 ・毎朝中山保育園門付近にて送迎の安全指導 ※第1・3・5月曜日以外は、他団体により毎日、小学校下校時の安全指導を行っている。	・電球等の取り換え ・簡単な大工仕事 ・外出の付き添い・話し相手 ・草むしり ・葉の受け取り ・ゴミ出し	・地域住民のニーズの受付・対応 ・家事の援助(庭の草取り、ごみ出しの手伝い、電燈の交換、家具のちょい移動、簡単な剪定、スタレの取付・取外) ・パソコンのイロハ ・なごみの会運営支援 ・認知症ミニ講座 ※住民主体型生活支援訪問サービスも実施。
東区地域支えあいリスト掲載件数 (内は、前年度の数)	子育て親子の通いの場	7(7)		
		1(1)	3(3)	3(3)
	障害児・者の通いの場	2(2)		
		1(1)	1(1)	0(0)
	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操等介護予防拠点)	35(32)		
		13(12)	15(13)	7(7)
	高齢者の通いの場 (グラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等)	22(21)		
		5(5)	10(9)	7(7)
	高齢者の通いの場 (いきいきサロン等交流の場)	20(20)		
		10(9)	7(8)	3(3)
地区社協の特徴的な取組	認知症支えあいカフェ	6(6)		
		2(2)	2(2)	2(2)
	子ども食堂(地域食堂)	3(3)		
		0(0)	3(3)	0(0)
	地区社協活動拠点活性化支援事業の取組状況 (活動拠点機能強化のための事業)	【取組期間】 ・令和3年度～	【取組期間】 ・令和6年度～	
	地域団体連携支援基金 事業費助成金の取組状況 (他団体との連携による地域課題解決のための事業)	【事業名】地域活性化紹介冊子の作成 【取組期間】令和4年度 【事業名】中山地区社協構成団体が活躍できる体制整備事業 【取組期間】令和5年度 【事業名】子育て講座 【取組期間】令和6年度	【事業名】尾長地区社協構成団体が活躍できる体制整備事業・自主防災活動の備品整備及び避難訓練 【取組期間】令和5年度	【事業名】救命安心カード作成及び配布事業 【取組期間】令和5年度 【事業名】矢賀学区盆踊り大会の復活事業 【取組期間】令和5年度・令和6年度
	ひろしまLMOへの取組	令和6年7月設立	設立準備中	令和5年3月設立
	その他の取組	【新たな子ども向け行事「サマーフェスタ中山」の実施】 コロナ禍で中止となっていた「盆踊り」をリニューアルして復活。屋台やステージ発表に加え、フィナーレに40発の打ち上げ花火を実施。約1700人が来場し、住民同士の交流が生まれていました。楽しい地域行事に子どもの頃から参加することで、将来の地域活動者の育成につながると考えています。	【見守り協力員研修会の実施】 高齢者等安心見守りネットワークの協力員である住民・事業所等を対象に「見守りを行う中で異変を発見した場合どうすればいいか」というテーマで研修会を開催。警察官、救急隊員にも助言者として参加してもらい、いざという時の対応について学び、理解を深めました。	【新たなつながり創出の取り組み】 例年実施している「新年のつどい」を住民なら誰でも参加できる行事としてリニューアル。これまで地区社協活動・町内会活動にあまり関わってこなかった住民も多数参加し、地域活動への関心と理解を深めてもらえました。新たな担い手の確保・育成に引き続き取り組んでいきます。